

報 道 資 料

発表年月日 平成27年12月2日 (水)

担当部署名 奈良県医療政策部保健予防課

担当者 戸毛・馬庭 0742-22-1101(代表)内線3161・3138

感染症の注意喚起～感染性胃腸炎の集団発生について～

県内の小学校において、感染性胃腸炎の集団発生でサポウウイルスの今季初発及び学級閉鎖事例がありました。注意喚起のため報道発表します。

1 発症者等 (11/30～12/2 まで)

・全発症者数 16名 (11/30～12/2 3日間)

・主な症状 嘔吐・下痢・発熱 重篤者なし 入院者なし

・発症者内訳 (発症者数/全児童数)

児童 16名 / 841名 (男 10名 / 449名、女 6名 / 392名) 職員 0名 / 40名

学年内訳 1年 2名 / 117名 (男 1名 / 59名 女 1名 / 58名)、2年 10名 / 134名 (男 7名 / 76名 女 3名 / 58名)、4年 1名 / 134名 (男 1名 / 71名 女 0名 / 63名)、5年 3名 / 136名 (男 1名 / 70名 女 2名 / 66名)

・学級閉鎖 12月1日～12月2日まで 2年4組閉鎖 発症者 6名 / 34名 (男 4名 / 19名 女 2名 / 15名)

・現在 (12月2日 10時) の状態 有症者は3名 (2年 (男 1名 女 1名)、5年 (女 1名)) で全員軽症で快方に向かっている。

2 検査結果 (検査日 12/2)

・有症者3名の検便からサポウウイルス陽性と判明 (サポウウイルスの詳細は別紙)。

※参考 給食は市内の小学校 (12校)・中学校 (8校) 合計 10,369食提供されているが、他校での発症はないため、感染原因から食中毒を否定。

3 学校について

学 校 名 生駒市立壺分小学校 (いこましりついちぶしょうがっこう)

所 在 地 生駒市壺分町356-1 TEL: 0743-76-8615

校 長 森 能伸 (もり よしのぶ)

児 童 数 841名 (男 449名、女 392名) 職 員 数 40名 (男 16名、女 24名)

4 経過

11/30 ・郡山保健所が小学校で嘔吐・下痢等の欠席者多数の報告を受ける。

・郡山保健所が生駒市立壺分小学校を現地調査。

12/1～12/2 保健研究センターで検査実施 (ノロウイルス、ロタウイルス、サポウウイルス)

5 感染拡大防止のための対応

保健所は学校に対して、①施設内の消毒の徹底など感染拡大防止対策の徹底を指導。②児童・職員の健康状態の把握と保健指導 (手洗いの励行、消毒、便・吐物の適切な処理方法等) の徹底を指導。

6 防止策

・感染のほとんどは口を介して侵入します。食事の前には、必ず十分な手洗いを!

・吐物や汚物の処理は、使い捨て手袋やマスク着用し、消毒液 (次亜塩素酸ナトリウムなど) で消毒を!

7 今シーズン (平成27年9月1日から) の感染症胃腸炎の集団発生等状況 (奈良市を除く)

発生施設数: 4施設 (うち小学校 2施設) 発症者数: 125名 ※今回の事例含む

(昨年同時期 発生施設数: 7施設 (うち小学校 0施設) 発症者数: 179名)

※集団発生の定義 (1施設、1週間以内に概ね10名以上発症で、2名以上の確定診断)